

## オルディ × 福助工業 破れにくいレジ袋を共同開発し特許取得

オルディ株式会社（代表取締役社長 寶田昌也）と福助工業株式会社（代表取締役社長 井上雄次）は、破れにくいレジ袋を共同開発し、特許を取得しました。  
開発商品は、23年秋に発売開始予定です。



破れにくいレジ袋を  
共同開発



### ● レジ袋有料化により消費者の要望が変化

レジ袋は2020年7月より有料化がスタートし、辞退率は85%\*1となりました。レジ袋は買い物袋として利用後、家庭でのごみ袋や旅行時の衣類等をまとめて入れるなど2次利用されており、その2次利用として家庭で必要なことから有料化後は店頭で販売されているレジ袋（手提げポリ袋）の購入率が増加しております。

\*1 出典：「プラスチックごみ問題に関する世論調査」（内閣府）

調査期間 令和4年9月1日～10月9日

(<https://survey.gov-online.go.jp/hutai/r04/r04-plastic/gairyaku.pdf>)

レジ袋が有料配布や購入となったことで、買い物袋として使用後、家庭での2次利用時に底シール部分に「穴があいていた。液体が漏れる。」などの声を多く聞くようになりました。

つまり、潜在的な消費者ニーズが顕在化してきたわけです。



マチ部分に穴が開きやすい

● 共同開発により特許取得

オルディと福助工業株式会社は、レジ袋有料化後に顕在化した消費者ニーズへ対応するため、2021年2月に秘密保持契約を結び共同開発をスタートしました。

開発のきっかけは、オルディのキッチンマチ付きポリ袋「国産ポリ袋」の特殊シール（えくぼシール）形状です。レジ袋に同様の機能を持たせるために形状を変えながら試作を繰り返して開発を進め「特殊U字シール形状」を完成させ、2023年5月に特許を取得いたしました。

レジ袋は、中身を入れたときに2枚と4枚（マチ部）の境界部に負荷が集中し、破れやすくなります。その境界部にかかる負荷を緩和し、底部全体で重さを支える形状のシールにすることにより破れにくさを実現しました。



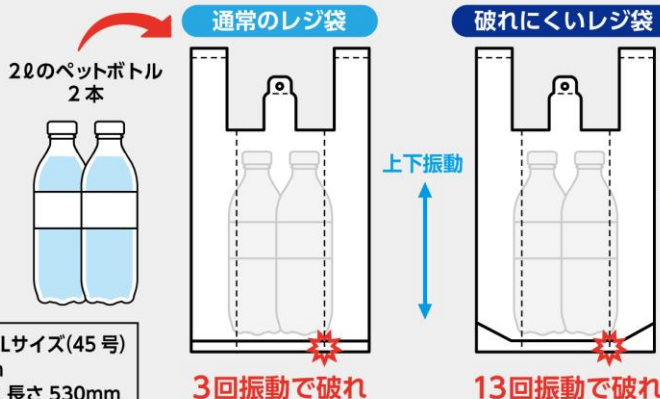
特許取得  
特許第 7284846号

● 破れにくいレジ袋（手提げ袋）の強度

ポリ袋にペットボトルを入れ、上下に一定の速度で振り、振動を与える試験（独自試験法）で、通常の袋に比べ強度が約4倍になりました。

## 振り試験

LLサイズ（厚さ 0.017mm）のレジ袋に2ℓのペットボトルを2本を入れ、一定の速度で上下振動させたとき、何回の上下振動で破れたかを比較。



使用レジ袋：LLサイズ(45号)  
厚さ 0.017mm  
幅 440(295)×長さ 530mm

※この比較試験は保証値ではありません。  
※投入量・大きさ振動などにより破れが生じやすい場合があります。

福助工業株式会社について

福助工業株式会社

創業 : 明治43年3月

設立 : 昭和24年4月

資本金 : 4億円

代表者 : 代表取締役社長 井上雄次

従業員数 : 1,175名 (福助グループ3,088名)

業務内容 : 各種軽包装資材製造販売 (合成樹脂製品、ラミネート製品、食品容器製品、紙製品、不織布製品、複合製品)

URL : <http://www.fukusuke-kogyo.co.jp>